

心の栄養剤 No.234 『どんな仕事も』

Aさんは、自分の事務所の近くに駐車場を借りていた。

その駐車場には初老の管理人がいた。定年退職後、その駐車場の管理人として働き始めたそうだ。

Aさんが駐車場を利用する度に、そのおじさんはいつも明るい笑顔で「おはようございます。今日もいい天気ですね。」と声を掛けてくる。

ある日のこと、移動の途中で雨が降り出し、駐車場に車を入れた後、車から出られず困っていた。するとそこへおじさんがやってきて、「傘、忘れたんでしょ？これ持っていきなさい」と貸してくれた。

満車の時、「満車」と書いた大きな看板を入りに置いておくのが普通の駐車場だが、そのおじさんは満車になると、入り口に立って、入ろうとするドライバー一人ひとりに「申し訳ありません。満車です」と頭を下げた。クレームを言う客がいると、その車が見えなくなるまで頭を下げ、見送っていた。それを見ながらAさんは、「そこまでしなくてもいいのに…」と思っていた。

ある日、車を停めて挨拶おじさんは「今週いっぱい辞めます。いろいろお世話になりました」と言う。奥さんが病気になっらしい。

残念に思いながら、最後の日、Aさんは感謝の気持ちを込めて手土産を持って行った。そして駐車場に着いたとき、Aさんは信じられない光景を見たのだった。

小さなプレハブの管理人室の周りがたくさんの人で溢れていたのだ。そして管理人室の中も外も、たくさんの手土産や花束でいっぱいだった。一人ひとりがおじさんにお礼を言ったり、握手したり、写真を撮ったりしていた。

Aさんは、「仕事ってこれなんだなあ」って教えられたという。

この大好きなエピソード話には感動させられ、15年程前にも心の栄養剤 (NO.42) にも載せさせて頂いたのですが、その時心のどこかでは「こんな話、本当にあるのだろうか～少し大げさに書かれているのではないか」と感じた事を覚えています。まさかこの話とほぼ同じ事が、昨年末に閉店させて頂いた植木店において、私自身に起こったのです。

まさに多くのお客様よりお花～お菓子～お酒～果物等々を頂き、涙を流して植木店に対する感謝を言って頂く奇跡と感動を体験させて頂きました。

私自身も、くすりのキュート植木店も感謝しかありません。

本当にほんとうにありがとうございました。



※2月より玉名店2階に私の相談部屋が出来上がります～どうぞお声掛けください！！

くすりのキュート 倉光 浩城

※ご相談がございましたら、いつでもお電話くださいませ☺

TEL (090-8357-2904)

